

# ダイヤモンド就活ナビ2018 就職モニターレポート1月調査

## 【調査概要】

- ◆調査対象 2018年3月卒業予定の大学院・大学 学生
- ◆有効回答 1,810名
- ◆調査期間 2017年1月12日（木）～2017年1月19日（木）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

## 【回答学生の内訳】

文系	1,335名 (73.8%)	理系	475名 (26.2%)
----	-------------------	----	-----------------

### 【回答の多かった学生】

早稲田大学、明治大学、関西学院大学、  
関西大学、専修大学、中央大学、日本大学、  
法政大学、上智大学、慶應義塾大学、  
立教大学、青山学院大学、東京電機大学、  
日本女子大学、関西外国語大学、  
東京理科大学、岡山大学、同志社大学、  
東京女子大学、立命館大学

## 【大学エリア別回答学生数】

北海道	91名	5.0%
東北エリア	34名	1.9%
関東エリア	928名	51.3%
甲信越エリア	33名	1.8%
東海・北陸エリア	173名	9.6%
関西エリア	331名	18.3%
中国・四国エリア	141名	7.8%
九州・沖縄エリア	79名	4.4%

## ◆TOPICS◆

### <インターンシップ参加状況>

インターンシップ参加率は57.6%。参加の理由は「就職活動に有利」が59.2%でトップ。  
平均参加社数は2.38社、複数回参加者が59.1%で半数を超える。

### <インターンシップの感想>

企業への印象は「その企業で働きたいと思った」が64.6%。  
参加してよかった点は「仕事内容を具体的に知ることができた」が76.4%でトップ。

### <就職活動の準備状況>

「自己分析」、「業界研究」、「企業研究」を約6割が回答。  
就職活動の準備を着々と進めている様子。

### <就職活動観>

「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」が41.4%の一方、大手志向も41.3%。  
8割以上の学生が志望業界を決定、  
企業を選ぶ基準は「社風がよい」55.8%、「仕事に魅力を感じる」54.7%。

## 【本調査に関するお問い合わせ】



株式会社  
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

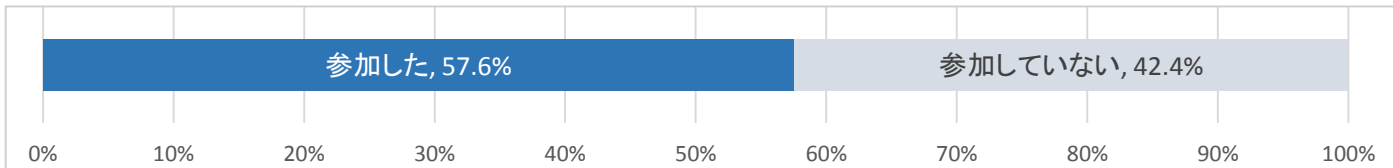
新卒メディア事業局 首都圏営業部

TEL : 03-5319-2452

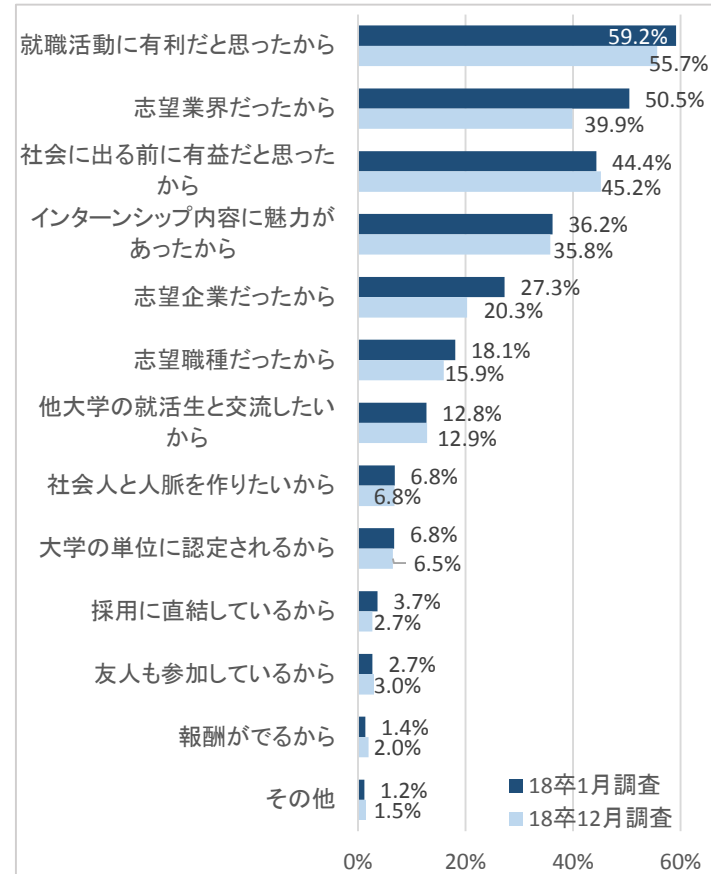
E-mail : [marketing@diamondhr.co.jp](mailto:marketing@diamondhr.co.jp)

# インターンシップ参加状況

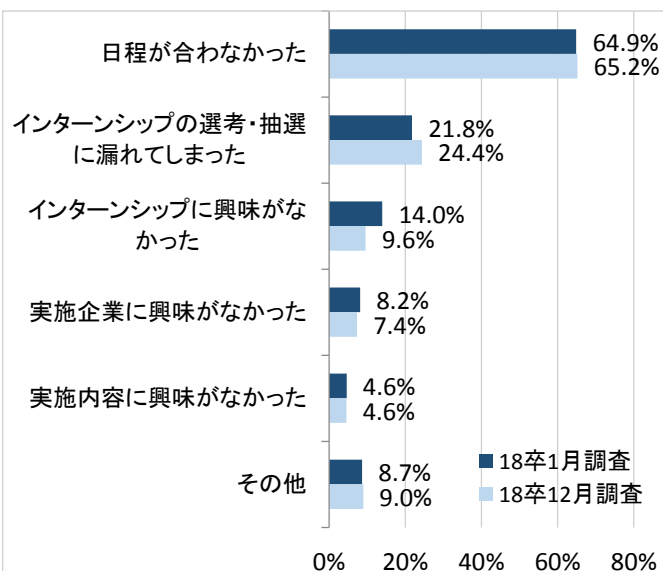
## ◆今年度の企業主催のインターンシップに参加しましたか？



## ◆インターンシップに参加した理由は何ですか？ (複数回答)



## ◆インターンシップに参加していない理由は何ですか？ (複数回答)

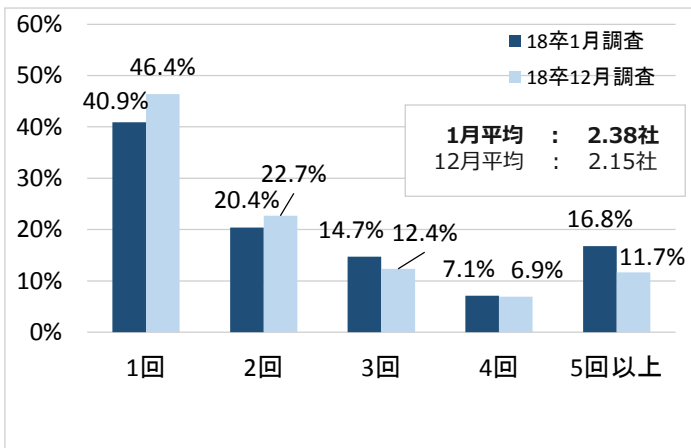


**インターンシップ参加率は57.6%。  
参加の理由は「就職活動に有利」が59.2%でトップ。**

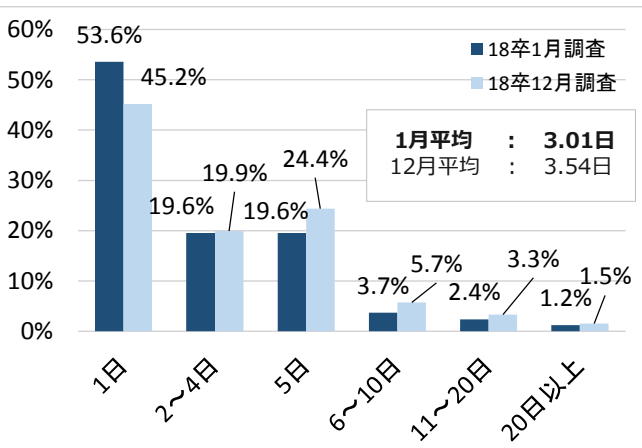
インターンシップへの参加状況は、「参加した」が57.6%、「参加していない」が42.4%と、参加した学生が半数以上を占めた。

参加の理由は「就職活動に有利だと思ったから」（12月調査：55.7%→1月調査：59.7%）が12月調査と同様トップとなった。

## ◆インターンシップには何社参加しましたか？



## ◆インターンシップの参加日数を教えてください



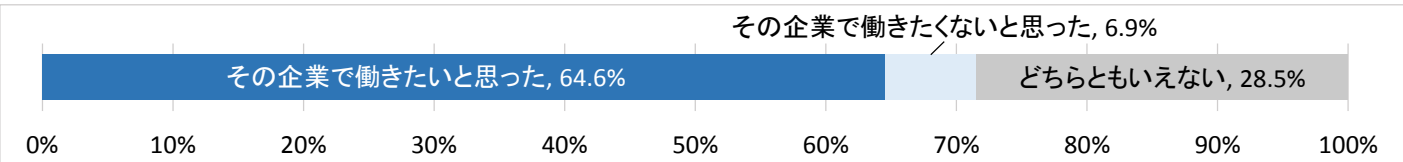
**平均参加社数は2.38社、複数回参加者が59.1%で半数を超える。**

参加社数は「1社」が40.9%と最も多いが、12月調査の46.4%より5.5ポイント減少。逆に「5社以上」が16.8%と12月調査の11.7%より5.1ポイント増加した。平均参加社数は2.38社と複数参加した学生が半数を超えている。

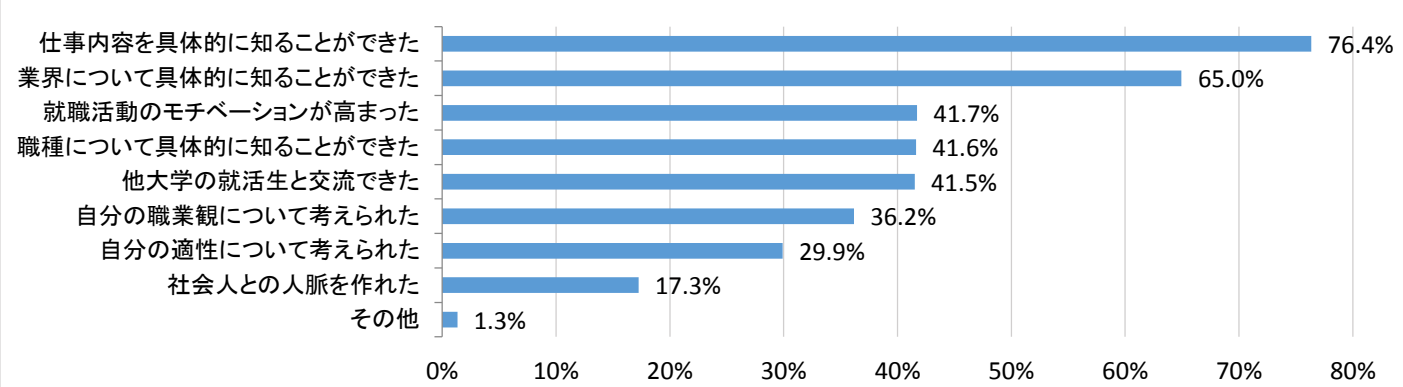
参加日数は「1日」（12月調査：45.2%→1月調査：53.6%）がトップとなった。

## インターンシップの感想

### ◆インターンシップに参加した企業への印象を教えてください



### ◆インターンシップに参加してよかった点を教えてください



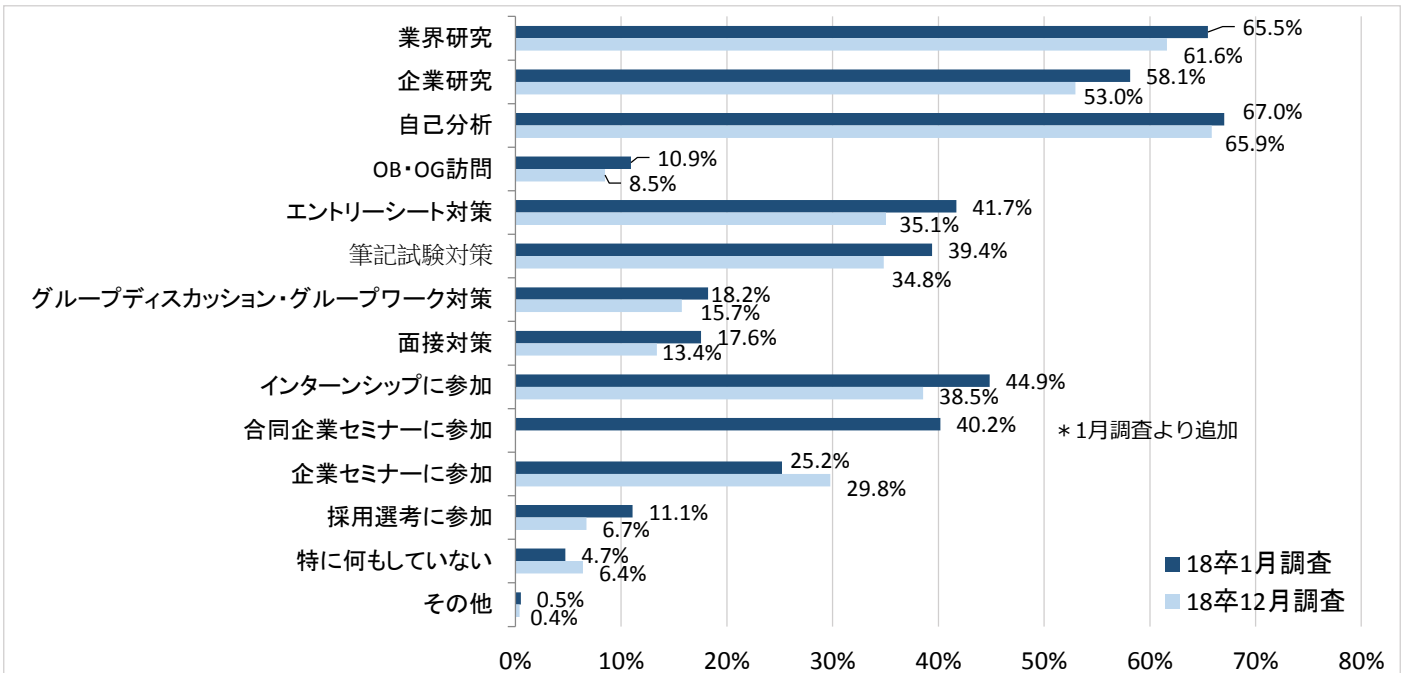
企業への印象は「その企業で働きたいと思った」が64.6%。  
参加してよかった点は「仕事内容を具体的に知ることができた」が76.4%でトップ。

インターンシップへ参加した企業への印象は、その企業で「働きたいと思った」が64.6%となり、「働きたくないと思った」は6.9%と僅かとなった。

参加してよかった点は、「仕事内容を具体的に知ることができた」が76.4%でトップ。次いで「業界について具体的に知ることができた」が65.0%、「就職活動のモチベーションが高まった」が41.7%で続く。

## 就職活動の準備状況

### ◆今の就職活動の準備状況を教えてください。

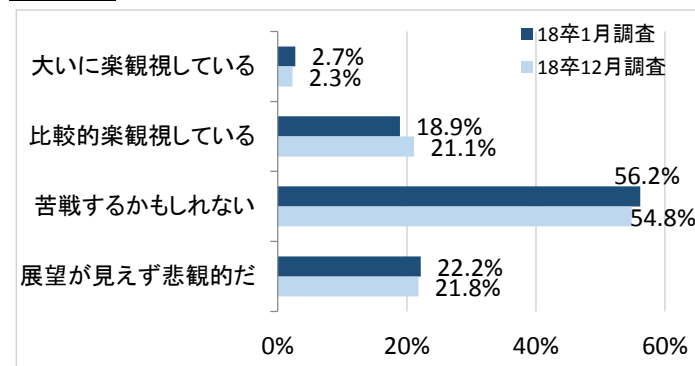


「自己分析」、「業界研究」、「企業研究」を約6割が回答。就職活動の準備を着々と進めている様子。

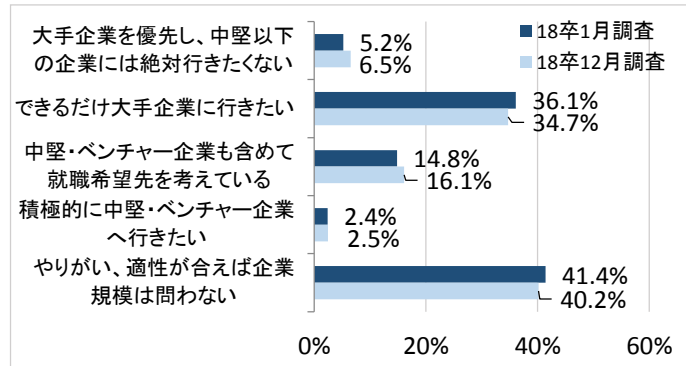
就職活動の準備状況は、「自己分析」（12月調査：65.9%→1月調査：67.0%）、「業界研究」（61.6%→65.5%）「企業研究」（53.0%→58.1%）の上位3つがそれぞれ12月調査よりポイントを伸ばした。その他の項目もほぼポイントを伸ばしており、就職活動の準備が着々と進んでいる様子が伺える。

# 就職活動観

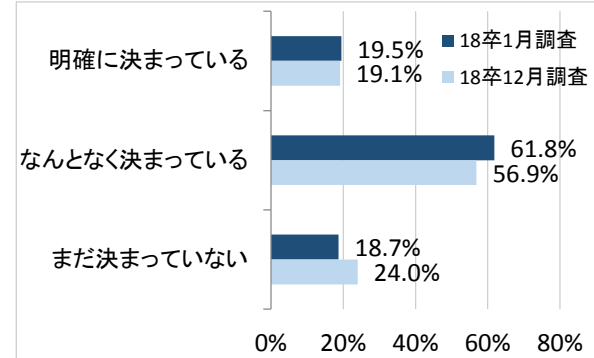
◆就職活動に向けて、現在の考えに近いものをお答えください。



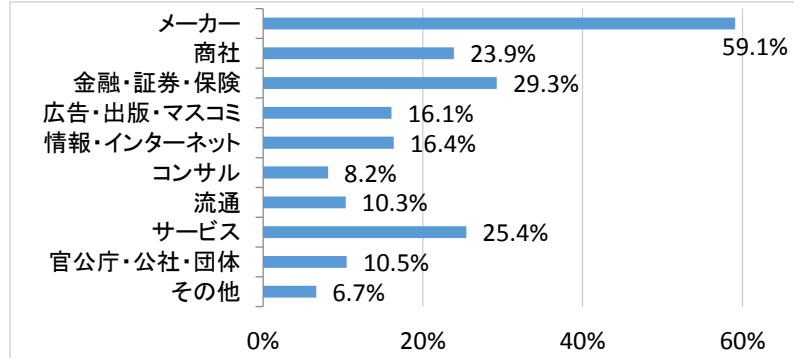
◆どんな企業に入社したいと思いますか？現在の考えに近いものをお答えください。



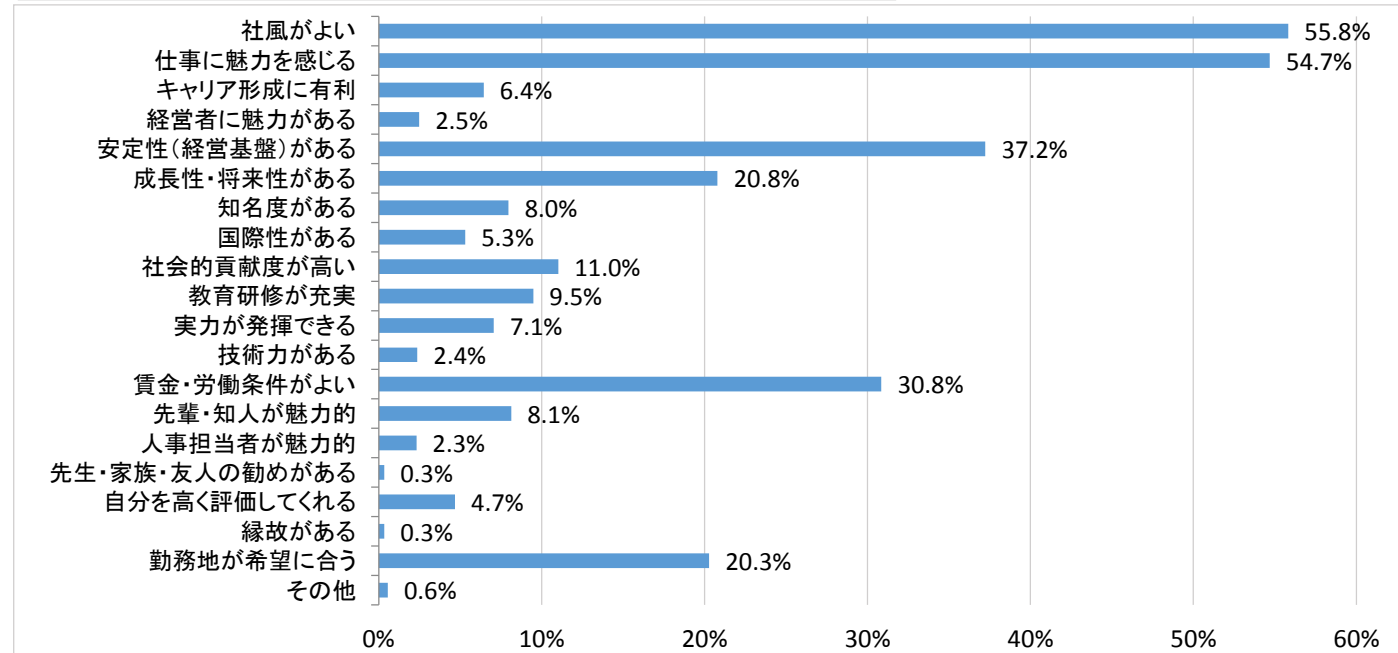
◆志望業界は決定していますか？



◆現時点での志望業界を教えてください。(複数回答、3つまで)



◆企業を選ぶ基準は何ですか？現在の考えに近いものをお答えください。(複数回答、3つまで)



「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」が41.4%の一方、大手志向も41.3%。  
8割以上の学生が志望業界を決定、企業を選ぶ基準は「社風がよい」55.8%、「仕事に魅力を感じる」54.7%。

企業規模に関しては「やりがい、適性が合えば規模は問わない」(12月調査：40.2%→1月調査：41.4%)が最も多いが、「大手を優先」(6.5%→5.2%)、「できるだけ大手」(34.7%→36.1%)も合わせて41.3%と大手志向の学生も同程度いる結果となった。

今後の就職活動における志望業界は「明確に決まっている」が(19.1%→19.5%)、「なんとなく決まっている」が(56.9%→61.8%)と、程度の差はあれ「決まっている」と回答した学生が81.3%と、12月調査の76.0%から5.3ポイント増加した。

企業を選ぶ基準は「社風がよい」が55.8%でトップ。次点は「仕事に魅力を感じる」が54.7%と僅差で続く。